

鹿児島大学での 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:平成30年1月25日(木)11:00~12:00

場所:鹿児島大学

※平成29年度 第6回目

平成30年2月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成30年1月25日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鹿児島大学学生	<p>① 鹿児島には誇るべき伝統工芸品がたくさんあるが、それらがあまり県外に知られておらず、また県内の人でも、特に若者はあまり触れる機会が無いのが現状だと思う。そこで、それらをもっと身近に感じてもらい、知名度をアップさせるため、仙巖園にあるスターバックスコーヒーとコラボし、世界一高いコーヒーというのを提案したい。</p> <p>薩摩切子の中にアイスコーヒーを入れ、コースターとして大島紬を使用するというものだ。グラスを購入頂ければそれはそのままお持ち帰り頂けるものにして、コースターなどは端切れなどでも作れると思うので実現しやすいのではないかと。効果として、薩摩切子にコーヒーが入っている見た目によるインスタ映えや、「世界一高いコーヒー」の話題性によるtwitterなどのSNSでの宣伝により、薩摩切子や大島紬などの知名度アップなどが考えられる。スターバックスコーヒーは若者人気が高く、全国的にも知名度が高いので、薩摩切子や大島紬などを知らない若者に広め、身近に感じてもらうには最適だと思う。</p> <p>また、それ以外にも、例えば下堂園のお茶とのコラボなどもいいと思う。その場合は鹿児島の特産品づくしとしても売り出せる点が良いのではないかとと思う。</p>	<p>① 薩摩切子や大島紬、薩摩焼、竹製品など、鹿児島市には歴史ある伝統工芸品があり、業界の方も情報発信をしていますが、若い人にはなかなか認識されていないようです。そういったことから、スターバックスコーヒーでの提案というのは面白いアイデアだと思いますので、関係者に伝えていきたいと思えます。</p> <p>私自身も常日頃から、鹿児島市の素晴らしい伝統工芸品を国内外の方に見てもらい、体感してもらい、買っていただきたいということでトップセールスを行っています。今週は千葉に行き、伝統工芸品だけでなく、桜島大根などの鹿児島の食も紹介してきました。先週はフランスの国際見本市に行きましたが、伝統工芸品の作り手の方も一緒に行き、薩摩焼や屋久杉製品などを展示、販売し、また、販路拡大の取組をしてきました。このような素晴らしいものは、外にどんどん発信して、魅力を高めることで鹿児島に来ていただくきっかけにもなると思えます。</p>	観光交流局	市長回答のとおり (関係者には連絡済み)

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成30年1月25日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	鹿児島大学 学生	<p>② 鹿児島市では、歩きタバコや自転車に乗りながらのタバコが多いと日常的に感じている。狭い道だと避けるのが難しかったり、また、子どもの顔のあたりにタバコの火や煙が当たりそうで危険だと感じるがよくある。</p> <p>鹿児島市みんなでまちを美しくする条例では、路上禁煙地区が天文館付近、中央駅付近に限られている。人が多く集まる場所なので、そこに限定する理由も分かるが、それ以外の場所でも火のついたタバコが歩行者に当たりそうで危険であるので、路上禁煙地区を拡大はできないのか。市として、その他の道路を路上禁煙地区に指定する動きはないのか。また、できない理由や懸念材料を教えてください。</p>	<p>② 路上での喫煙や歩きタバコ、ポイ捨てなど危険なことをする方は残念ながらいます。特にポイ捨てをされると、地域のマイナスイメージにもなってしまいます。多くの観光客が来る中で、まちが綺麗という第一印象を持っていただくために、路上での喫煙やポイ捨てを出来る限り少なくしていかなければなりません。</p> <p>鹿児島市が路上禁煙地区に指定しているのは、天文館付近と中央駅付近ですが、通り会の協力を得ながら指定しているところです。その他の地区に広げるには、通り会や商店街、地域の方々の協力が必要ですので、そのような協力が得られるようであれば、広げていきたいと思えます。</p> <p>歩きタバコやポイ捨てなどは見ている方も気分が悪いものですので、喫煙者のマナーを向上させるために、巡回パトロールなどの啓発活動を行っています。</p> <p>鹿児島が美しいまちだということを示すことは、まちの魅力の向上にもつながりますので、市としても努力をしなければなりませんし、喫煙者の方々にもマナーを守っていただきたいと思えます。</p>	環境局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成30年1月25日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	鹿児島大学 学生	<p>③ 「かごつまふるさと屋台村」があと数年でなくなってしまうと聞いた。観光で足を運んでくれた人が夜まで楽しめるような、また、ビジネスで訪れている人が、1日の疲れを癒すことができるような憩いの場所がなくなってしまうのは寂しい。地元の温かい人々とともに、おいしい食と焼酎で“だいやめ”をして鹿児島の夜を過ごしてほしい。</p> <p>県外から来た人でも気軽に立ち寄ることのできる屋台村の存続、もしくは、甲突川沿いに博多のような屋台街を作ってみてはどうか。駅や周辺のホテルからも徒歩や市電で往復できるため、宿泊客や宿泊ビジネスマン、仕事帰りのサラリーマンがターゲットになると思う。</p> <p>仙巖園などの観光施設や天文館街の店舗、各ホテル、駅の土産横丁、市電市バスの一日乗車券などとも連携し、屋台街で特典や割引サービスを受けられるチケットをプレゼントすると、各所と屋台街をつなげることができ、より多くの方に訪れていただけるのではないかと思う。</p> <p>日中は鹿児島のまち歩きを楽しんでもらい、夜は屋台街でのんびり過ごすという観光ルートを創出し、朝から晩まで鹿児島をまるごと満喫できるということで、鹿児島の観光をより魅力的にアピールできるのではないかと思う。長旅や仕事で疲れた身体を癒すことができ、また、地域の人々ともつながることができる憩いの場ができるといいと思う。</p>	<p>③ 「かごつまふるさと屋台村」については、撤退の報道がされておりますが、憩える、休まる、交流が深まる、そして鹿児島の食が味わえる場として評判が良い場所です。鹿児島市の観光にとっても、素晴らしい拠点となっております。</p> <p>中央駅周辺は19番20番街区の再開発が始まりますが、様々なお店が入ると思いますが、特に鹿児島の食や魅力を紹介するお店にも入っていただきたいと思っています。中央駅周辺は大きく変わっていくと思いますので、鹿児島市のまちづくりが変貌する一端を担っていただけたらと思います。その際に、屋台村のある場所がどのように変わっていくのか見ていかないといけません。撤退するということはやはり残念に思っています。屋台村に代わるものが出来ればいいと思いますし、観光振興の目玉でもありますので、このようなことを事業者の方にお伝えしていきたいと思っています。</p> <p>また、観光スポットを巡る観光チケットは、民間でも取り組んでいますので、そのようなものが充実できないか観光関係の方々にご相談していきたいと思っています。</p> <p>やはり官民一体となって、鹿児島の観光振興に努力していきたいと思っています。観光振興は総合産業であり、交流人口の増大にもつながります。そのことが鹿児島のまちの活性化につながっていきますので、あらゆる面でプラスの効果が出てきます。さらに観光の魅力を、鹿児島の発展のためのひとつの大きな原動力として深めていければと思います。</p>	観光交流局	市長回答のとおり (今後機会を捉えて関係者に伝える予定。)

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成30年1月25日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	鹿児島大学 学生	<p>④ 私は鹿児島駅の近くに住んでいるが、鹿児島駅周辺には店が少なく利便性があまりなく、活気も見られないのでとても寂しい雰囲気だと思っている。昨年「かんまちあ」ができ、イベントを行うときには多くの人々が利用して賑わいがあるが、それ以外のときには以前と変わらない雰囲気を感じている。そこで二つ提案がある。</p> <p>一つ目は、利便性を高めるために鹿児島駅構内にコンビニエンスストアやドラッグストアのような売店を設けることだ。周辺には少し離れたところしかコンビニエンスストアがないため、構内に設置することで駅を利用する人はもちろん、利用しない人も気軽に立ち寄ることができるのではないかと。</p> <p>二つ目は、「かんまちあ」内に週に一回程度博多のような屋台を出すことだ。これは2020年末になくなってしまいう「かごま屋台村」をヒントに考えた。屋台村のような雰囲気を作りたいと思い、しかし屋台村を作るには土地が足りないと考えられるため博多にある屋台を駐車場などに出してはどうか。鹿児島駅周辺に屋台ができれば、JRで帰る人々が終電の時間までゆっくりお酒を楽しむことができると思う。</p>	<p>④ 鹿児島駅周辺は整備計画を作り、鋭意整備を進めているところです。市電と駅舎の融合や、東西連絡通路の建設、市道の改良等をしていきたいと思っています。中央駅周辺に賑やかさが移ってはいますが、元来中心市街地は鹿児島駅周辺であり、歴史や文化、眺望等に大変恵まれた地域でありますので、従来の賑やかさを取り戻すために様々な対応を取っています。</p> <p>構内にコンビニエンスストアを設けることについては、JR九州が駅舎の整備を進める中で取り入れていただけないか話をしていきたいと思っています。</p> <p>かんまちあは平成28年10月に地域の活性化のために設置しました。色々なイベントを実施していますが、かんまちあを運営している団体にイベントを数多く企画・誘致してもらい、多くの方々に活用してもらえよう要請をしたいと思います。</p> <p>屋台については、賑やかさの創出にはつながると思いますが、場所の確保に課題があり、事業主体があるかということもありますので、アイデアとして受け止めたいと思います。</p>	建設局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成30年1月25日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	鹿児島大学学生	<p>⑤ 鹿児島市は桜島が大噴火した際、桜島の島民を受け入れるほか、大量降灰が予想された場合は鹿児島市内の市民や観光客を避難させなければならない。今後より一層観光客が増えると思うが、土地勘のない人や初めて鹿児島に来た人、外国人はどこに避難すればよいかわからないと思う。</p> <p>そこで、避難所への誘導を多言語表記にすることと、観光ガイドや添乗員、宿泊施設の職員に噴火時の対応知識を研修等で身に付けていただき、有事に避難誘導をしてもらうということを提案する。</p>	<p>⑤ 桜島の大規模噴火への対応については、常日頃から危機管理の重要性をしっかりと認識しながら対応しています。毎年1月12日に桜島で防災訓練を実施することで、多くの市民の方々に避難誘導や防災対策の意識を持っていただいています。</p> <p>そして市民の皆さんには自分の命は自分で守ってもらい、地域の皆さんには地域の力で地域の財産を守ってもらい、行政は市民全体の防災・避難・減災対策をしていきたいと思えます。これは自助・共助・公助で、いざというときのための意識を市民の皆様を持ってもらいたいと思っています。</p> <p>観光の取組を進める中で、多くの皆さんに鹿児島に来ていただけてますが、その際に爆発が起こって、どこにどのように避難したらいいかということは市民の皆さんは分かっている、国内外の観光客は分からないと思えます。添乗員や観光ガイドに避難方法を知っていただくことは大変大事だと思えますので、観光ボランティアや添乗員の方々に研修で伝えていかなければならないと思えます。</p> <p>海外の方々については、桜島島内のシェルターは全て4か国語標記で案内をしています。ここだけでなく市内の避難所となる公園なども、同じようにしていかないといけないと思っています。</p> <p>また、現在、地域防災計画を策定中ですので、観光客も含め、避難誘導等もしっかり検討して、観光業に携わる方々にも周知徹底していききたいと思います。</p> <p>群馬県でも突然爆発して被害が出てしまいました。鹿児島市は桜島が頻繁に噴煙を上げているということで意識を持ってもらっていますが、海外や国内から来ていただく方にはまだ意識が足りないと思えますので、しっかり情報伝達する手立てを計画の中に作っていききたいと思います。</p>	市民局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成30年1月25日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	鹿児島大学 学生	<p>⑥ 鹿児島市を拠点とするプロスポーツチームの認知を広げるための取組を提案したい。</p> <p>背景としては、市全体で応援しているという雰囲気があまり感じられないこと、市民の中で試合日程を把握している人は少なく、いつ試合をしているのか分からないということだ。</p> <p>そこで、ホームスタジアムで試合をする日には、駅前や天文館、大学など人が多く通るところにチームの旗や応援の旗を立てるのはどうか。例えば、キャラクターがボールを持って「がんばれ！」とやっているようなものだ。</p> <p>試合の日に旗を立てることで、試合していることが分かり、試合の結果に興味を持つようになると思う。また、市全体で応援している雰囲気が出て、市民がチームにも愛着を持てると思う。そして、サポーターが増え、どのチームも大きくなるきっかけになると良いと思う。</p>	<p>⑥ 私自身も、そして市政の方針としても、スポーツでまちを元気にする、そして、市民だけでなく、県民、企業など多くの皆さんが一体となって盛り上げていくという気運を醸成することが大変大事だと思っています。</p> <p>広報がしっかりしていなければプロスポーツの育成にもつながらないと思いますし、市民の皆さんの認知度にもつながらないと思いますので、ご提案のあった内容も参考にしながら、さらに多くの方に試合会場に足を運んでいただけるように、鹿児島市としても、それぞれの企業にも協力をいただきながら、周知を図っていきたいと思います。</p> <p>やはり、オール鹿児島でチームを盛り上げていくことが大切ではないかと思います。そのことがチームの大きな力になって、上の段階を狙える後押しにもなると思います。サッカーやバスケットボールなど色々なチームがありますが、そのチームが活躍することで鹿児島の素晴らしさにつながっていくと思います。</p>	観光交流局	<p>提言内容については、クラブとも協議の上、商店街等との協働で実施できないか、検討します。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成30年1月25日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	鹿児島大学学生	<p>⑦ 今回の講義を通して鹿児島の観光を考える良い機会となった。鹿児島市の観光は海外航空便の増便や大河ドラマの放送、維新150周年など成長が見込めると思うが、都道府県別でみると20位、30位代と、現状では満足してはダメで、さらなる成長が必要だと感じた。</p> <p>そこで、観光消費額を増やし、リピーターを増やすために、鹿児島市のみならず県全土で連携した宿泊施設の割引パスを提案したい。</p> <p>海外から鹿児島への観光プランを企画する企業の方と話をしたが、なぜ福岡や東京などの大都市ではなく鹿児島を選んだのかと聞くと、パンフレットに映る雄大な写真に魅了されて選ぶ方が多いと聞いた。</p> <p>鹿児島市の観光資源にも魅力はあると思うが限界があると思う。そこで県全体の観光資源を鹿児島市が発信していくことが大事だと思う。県土面積の大きい鹿児島の観光地を1日で回るのには厳しい。</p> <p>そこで、市内の宿泊施設を割引パス利用可能施設として登録し、市内外の観光スポットにスタンプを設置し、そのスタンプの数に応じて割引が加算されていくという仕組みを取り入れたらどうか。観光客が市内外の観光地を周った後、また鹿児島市の宿泊施設に戻り、鹿児島市を拠点に鹿児島のあらゆる土地を回ることができ、鹿児島市の観光消費額を上げていくことができるのではないかと考えた。</p>	<p>⑦ 宿泊施設で利用できる割引パスがあると、滞在期間の延長を促進し、観光消費額を向上させるきっかけになると思います。</p> <p>鹿児島市を訪れる方は、鹿児島市のみならず近隣の地域にも訪問することが多く、鹿児島市だけを目的とする人は少ないと思います。鹿児島市を見た後に指宿市や霧島市に行ったり、もう少し足を延ばすと屋久島や奄美大島などの離島に行ったりする人もたくさんいると思います。そういった意味では、県全体での仕組みというのも効果的だとは思いますが、行政が指導してやるというよりも、民間の方々が集まった観光連盟のようなところで取り組めないかこちらからも提案していければと思います。旅行業、宿泊、観光施設などが連携して取り組まなければならない大きな課題だと思います。</p> <p>鹿児島市が他都市と連携して行っている取組としては、霧島市、指宿市、南九州市と鹿児島市の4市が鹿児島の観光のリーダーとして頑張ろうということで協議会を作って、観光情報発信を行っています。また、九州では福岡市、熊本市、北九州市と連携した幅広く観光客を取り込むプロモーションを行っています。</p> <p>九州に国内外から多くの方がクルーズ船等で来ていただいています。特に福岡がダントツで多いので、そのような方々を熊本、宮崎、鹿児島に呼び込むためには何らかの手立てが必要だということ。これからはこの3都市で連携して観光振興を進めていかなければならないと思っています。そして、そのことが九州全体の浮揚につながり、ひいては鹿児島市の地域の活性化につながると思います。</p> <p>観光は総合産業ということで、色々な面でメリットがあります。今、大河ドラマが放映されていますが、これも入込観光客数の増加につながると思います。平成2年の「飛ぶが如く」の時の入込観光客数が804万人、平成20年の「篤姫」の時には900万人ということで、大河ドラマというのは大変大きな効果があります。今回の「西郷どん」でどれくらい来ていただけるか分かりませんが、1,000万人を超えればと思っています。</p> <p>また、海外の入込観光客の方々も平成28年度の統計を見ますと前年度よりも2倍になっています。人口が減っていくと、都市の衰退や経済規模の縮小、地域の疲弊などの影響が出てきますが、それをカバーするためには交流人口の増加、観光振興の取組が必要だと思っています。</p> <p>鹿児島市の人口が減っていく中では、鹿児島大学で学んだ学生の皆さんが、県内にいくつもの優良企業がありますので、鹿児島に就職して、鹿児島の経済を担っていただきたいと思っています。</p> <p>私は常に市民の皆様がそれぞれの地域で生きがいを持って、豊かさを実感できるまちづくりを進めています。その一端を皆様に担っていただきたいと思っています。そのためには、まちに若い人、そして多くの方々が溢れることが必要だと思います。</p> <p>そのような意味でも、提案のあった割引パスなどの連携が出来ればいいとは思いますが、多くの方々の協力が必要ですので、お話をしていかなければいけないと思います。</p>	観光交流局	市長回答のとおり